

【実行内容】

- 1.実行期間 令和2年9月16日～ 令和3年1月17日 *お百度マイルは12月1日から12月31日深夜
- 2.ターゲット 八幡西区北部(商圏5km) *新たに分譲マンション等に入居する新住民および地域住民
- 3.実行手順

①関係機関、連携機関との調整(実行期間前)

- ・岡田宮、黒崎駅、周辺店舗、第一交通(マンションディベロッパー)、自治会等と調整を進めた。
- ・組合加盟店および今後対象エリアとなる店舗に対し協力および参加を呼び掛けた。

②制作物作成開始(採択後)

- ・チラシ、ポスター(駅貼)、スタンプ帳、スタンプ3種類1、DIYスタンプ台3か所(黒崎駅・岡田宮・商店街)、マスクケース、引換券(2種類)、抽選会用バックボード、アンケート調査票、店舗紹介ボード、スタンプ台設置シフト表、抽選ボックス、のぼり旗1枚

③告知開始(11月中旬～)

- ・チラシ配布:黒崎第三自治区会、組合員店舗、駅・神社のスタンプ台、区役所等
- ・市政だより(12月1号)、チラシの店頭掲示
- ・黒崎駅ポスター掲示:12月7日～13日/21日～27日の2クール

④お百度マイル開始(12月1日～12月31日)

- ・岡田宮と黒崎駅、組合加盟店にチラシと台紙を常備し、来店客および来街者に配布。岡田宮と黒崎駅にはスタンプ(台含む)を常設しスタンプを自由に押してもらえるように。
- ・スタート時点では駅と神社に500部ずつ、各組合員店舗に100部ずつ配布。無くなれば順次補充。
- ・組合加盟店は来店客に台紙とチラシを配布し参加を促した。台紙の配布は12月27日まで。
- ・各店舗に配布する台紙には、1店舗目としてのスタンプ(共通)を事前に押しておく。各店舗が配布の台紙は残り4店舗(4日間)で達成。黒崎駅および岡田宮配布台紙は5店舗(5日間)で達成。
- ・期間中は岡田神社もツイッター等で積極的に本事業をPR。
- ・スタンプ台は日替わりで店頭を設置し、来街者が気軽に参加できる雰囲気醸造。雨天時は組合事務所入り口。フェイスブック等で設置場所を配信した。
- ・5回(5日)で満点とし、事務所で景品と引き換え(アンケート協力)。景品はオリジナルマスクケース(100ヶ限定)または岡田宮オリジナル御朱印引換券。完走者にはダブルチャンスとして12月31日のガラポン抽選会参加。
- ・27日の終了後も参加の問い合わせが多く、31日までスタンプ台設置を延長した(救済措置)。

⑤ガラポン抽選会(12月31日):12月31日22時から1月1日26時まで開催

- ・お百度マイルへの参加モチベーションを上げるため、加盟店が賞品提供し本事業への参加できるよう実施。
- 特等:「黒崎駅長おすすめの湯プラン」(ペア1組・日帰りランチ付きプラン・湯布院限定・貸切露天風呂付)
- 新天街賞:各店舗の割引券、協賛商品等(別紙)
- ドリーム賞:200円の宝くじ
- ・お百度マイルの完走者(スタンプ5個コンプリート)およびアンケート協力者が参加可能
- ・音響PAは場内BGのためスピーカーを10台設置。ガラポン抽選会の場内アナウンスに使用。大音量とならないよう3ブロックに分けて配置。合わせて音響業者が照明も設置。
- ・1月1日午前0時めがけて初詣に訪れる参拝客にも参道を歩いてもらい、アンケート協力を呼び掛けた(協力者には200円宝くじ1枚進呈)。完走者はガラポン抽選で特賞またはドリーム賞、および新天街賞抽選可能。アンケート協力者は新天街賞のみ。
- ・和傘を並べて岡田宮への誘導を図った。

⑥精算、報告、課題分析、継続手法の検討(1月以降)

- ・アンケート集計(完走者と31日イベントの参加者を区別するためアンケートを2種類準備)および参加者総数をカウント。成果報告会(2月20日)を開催し、課題の共有と次年度以降の継続に向けた検討。

【実行のポイント】

- ・店頭スタンプ台を設置し3密を緩和。設置場所を日替りにし、設置場所をSNS発信で誘客に努めた。
- ・店舗紹介ボードはLINEテンプレート活用。
- ・ガラポン抽選会で和傘を並べてライトアップ。消毒液を設置しコロナ対策を万全に。
- ・岡田宮設置のスタンプ台にも神社協力のもとクリスマスデコレートし、のぼり旗も設置。
- ・岡田宮のスタッフが公式ツイッター等で実演方法を含めた告知の協力が実現。
- ・新天街賞は景品提供だけでなく、新たな来店および新規顧客獲得に繋がる内容に。
- ・店舗へのスタンプ台配置や抽選会新天街賞募集を通じて組合活動への関心は大幅向上。

- ・名称:お百度マイルで商店街を楽しもう!
～黒崎表参道開通記念プロジェクト～
- ・テーマ:3密回避しながら商店街の回遊性向上と新規顧客獲得およびリピート率向上による販売機会増加と消費喚起
- ・実施機関:黒崎駅前新天街協同組合

【商店街プロフィール】

北九州市八幡西区黒崎2-7-16
組合員数 26店舗(令和2年5月時点)
店舗数 36店舗(生鮮3%・物販27%・飲食23%・サービス47%)

【商店街の現状と課題】

- ・黒崎駅前商業施設(黒崎メイト)が撤退し、コロナ禍で商店街への来街者が減少する厳しい商環境の中でも新規オープンが相次いでいる。
- ・新規出店の店舗に商店街の活動を理解してもらい組合員になってもらい組合活動を安定、発展させる必要あり。マンション竣工が進み周辺は人口増加傾向で、新住民にも商店街での3密を避けた開放的な空間での買い物や食事を楽しんでもらうための仕掛け作りが必要。
- ・2度のトータルプラン作成支援事業を通じアーケード撤去、撤去後の「参道商店街」としての再生を決め、街路(参道)整備事業も終了したことから、歩きたくなる商店街を広く周知し、地域に親しまれる商店街として生まれ変わるきっかけに。商店街街路は「表参道新天街」として呼称変更を済ませ、行政にも正式に採用済。



【成果】

- ・アンケート回答者総数(完走者・協力者含む)100名⇒実績:68名
- ・参加者数500名(のべ)⇒実績:540名(完走者43名)
- ・ガラポン抽選会参加者100名⇒実績:95名
- ・新規組合加盟店(賛助会員含む)4店舗⇒実績:6店舗
- ・SNS(フェイスブック)フォロワー数600人⇒実績:329人(12/31)
- ・新規顧客獲得およびリピート率向上を目指すことで消費喚起に繋げることができた。
- ・街路(参道)整備が完了し、明るく開放的で雰囲気良く、歩きやすくなった商店街を広く知ってもらい歩いてもらうきっかけづくりに。
- ・黒崎の魅力と利便性を認識してもらい、「住みやすく便利な」黒崎のファンの増加に寄与できた。
- ・事業参加を通じて延伸する参道沿いの組合加盟店が増加し、組合活動の安定と発展に繋げる礎ができた。
- ・街路整備に合わせ商店街エリアの延伸が図られることから組合員を拡充することができた。

【今後の改善点】

- ・店頭チラシ掲示をさらに徹底すべき。
- ・事務所電気容量が小さかったため発電機を別途リースすべき。
- ・和傘の灯りに関し街路灯が明るすぎてあまり目立たなかった
- ・抽選会(12月31日)より事前に完走したお百度マイル完走者に対するアンケート協力依頼が一部徹底できていなかった。
- ・雨天時は軒がある店に振り替えたがその対策の更なる徹底。
- ・イベントの告知に対してスタンプ帳の配布の更なる工夫
- ・チラシの手渡しも足りなかった。ルール付けももっと徹底すべきだった。みんなの手に渡るような工夫がもっとあればよかった。
- ・アルバイトにチラシの配布などもやってもらえたら。
- ・12月31日は可能であれば全員そろいのジャンパーを着てスタッフと区別できるようすべきだった。
- ・新天街賞のクーポン券に有効期限を記載しておらず、口頭で「1月31日まで」と説明していたので今後は記入を徹底する。
- ・大学の地域創生学部にて企画段階から巻き込むことも検討。
- ・来年に向けて組合員を増やしていく努力を引き続き継続。

